

kokoiko
第11号
2020.1.1

来て 見て 使って つながって

koko iko

コ コ イ コ

こども食堂が作りだす
新しいつながりの場



今、日本中で広がっている「こども食堂」の取り組み。府中市内でも2016年に始まり、現在9か所で開催されています。

子どもを中心に、地域の様々な人が連携し、生み出されている「こども食堂」。どのような様子で運営されているのでしょうか。

今回は、その一つである「ひがしふちゅう駅前こども食堂」を訪れました。

contents

- こども食堂が作りだす 新しいつながりの場
- column 居場所づくり
- プラッツ登録団体紹介
- プラッツつながりカレンダー
- プラッツよもやま情報

こども食堂が作りだす

新しいつながりの場



ひがしふちゅう駅前こども食堂

今、日本では7人に1人が「相対的貧困」状態にあると言われています。当たり前のように友達が持っているものが買えない、食べられないという状態の子どもが、7人に1人。また、親が仕事などで忙しいと、どうしても地域とのつながりが薄くなり、一人でご飯を食べる子どもも増えてきています。そんな中、「地域の人みんなで集まって温かい食事をとり、ほっとできる場所が作れないか」という思いから、「ひがしふちゅう駅前こども食堂」は始まりました。

地域で子どもたちを支えていく

スタッフは、わがまち支え合い協議会、自治会役員や民生児童委員の方々が中心となり、場所は公会堂を使用。地域の皆さまから調理器具等を提供していただき、準備から半年ほどで開催できるようになりました。

運営時には、地域の方や農家さんなどから、野菜やお米、地域のお肉屋さんからお肉を提供していただきました。

そして、調理の経験・知識の豊富な方が集まったものを見てメニューを決めます。また、保育士の方がボランティアで装飾をしたり、近くの大学生が宿題を見るなど、地域の様々な人が力を合わせてこども食堂を作り上げています。

新しいつながりの場

ひがしふちゅう駅前こども食堂では毎回、子どもが30~40人、大人が20人ほど参加しています。「いつも親子だけの食卓ですが、大勢

でにぎやかな食事がうれしい」といった声や、「久しぶりにゆっくり、おいしい食事ができた」という感想も。

貧困や孤食などが増えているとは言え、なかなか目には見えてきません。しかしこうした場を持つことで、地域の人がつながっていき、今まで見えなかったものが見えてくるのではないのでしょうか。こども食堂は、様々な世代が触れ合い、知り合う、地域の新しいつながりの場にもなっています。



はやし ひでこ
林 比典子さん

府中市民生委員児童委員協議会、青少年対策浅間地区委員や自治会役員を務めながら、2018年度からは「ひがしふちゅう駅前こども食堂」を開始。地域の子どもの成長に関わり、住民同士がつながるための活動に取り組んでいる。

kokoiko column



ものの居場所、また、多世代が集まる居場所等、日本中様々な形で地域や人とのゆるいつながりが生み出される空間が注目を集めています。府中市内でも人と人が自然につながり、交流が生まれる居場所が増え、様々な活動が行われています。皆さんも、人と人をつながる場を、作ってみませんか？

試行錯誤をしながら

毎月こども食堂開催日の1週間前と2週間前にスタッフが集まり、前回の反省と、次回のメニューや運営方法を決める会議を行います。スタッフそれぞれに思いがあるため毎回活発な議論が行われており、今まで16回開催してきましたが、毎回違うやり方を試しながら、必要としている方に自然に来てもらえるように工夫を凝らしています。



むがしふちゅう

駅前こども食堂

地域の中で困難を抱え、少し辛い思いをしているお子さんや、働きながら子育てをしている親御さんを中心に、一人暮らしの高齢者の方までを対象として、大勢で集まって温かい食事をしながら、少しほっとして、地域のつながりを感じてもらえる場所を作っています。

月1回 毎月第1水曜日の夕食を、子どもは無料、大人は300円で提供しています。

居場所づくり

社会の効率化が進むにつれて、人と人との関係性が薄れ、「社会的孤立」と呼ばれる問題が浮き上がりつつあります。この問題に対応するように、高齢者の居場所、子育て世代の居場所、子

府中市市民活動センター プラッツ

登録団体紹介

コミュニティガーデンカフェ きゅ庵

きゅ庵では、季節の木々に彩られた庭でお茶を楽しめるだけでなく、ちょっとした非日常を体験できます。庭での梅もぎ体験をはじめ、ピザパーティやオカリナ楽団のミニ演奏会など、さらに、退職後のシニアを対象に「男の部活動」講座も行っており、カフェ以外の活動も盛んです。

「今後は高齢者保健施設のリハビリの場として、また、発達障がいの人たちにも、居心地のよい場を作っていきたい。そして、楽しんで無理をせず、これからも活動を続けていきたい」ときゅ庵の桑田さんはおっしゃっています。

興味があるという方は是非、足を運んでみてはいかがでしょうか。

きゅ庵で「ちょっとした非日常」を体験すれば、居心地の良い地域の居場所を見つけられるかもしれません。

市民記者：東京農工大学 石井



コミュニティガーデンきゅ庵

<http://www.cure-an.com/>

地域子育て支援 すばこ

「『仕事をやりたい、続けたい』というママの気持ちを応援するために“すばこ”を開きました。」

学童保育所などがありますが、ちょうど良い時間に小学生のお預かりをしている場所が少ないのが現状です。すばこでは居場所づくりとして、自宅の1階を解放し子どもを預かっています。

「安心して子供を預けてママが仕事を頑張る。その後に優しくできる心の余裕を持ってもらいたいです。そして、子育てを1人でするのはなく、地域で支えていき、少しでもママの力になれば嬉しいです。」ママの可能性を広げてくれる“すばこ”から、今後多くの鳥たちが羽ばたいていくでしょう！

市民記者：うえき



地域子育て支援すばこ

<https://www.subako-m.com/>

団体登録しませんか？

プラッツの登録団体になると、団体活動スペースの予約利用や印刷室、各種貸出機材の活用、さらにWebやチラシ等での情報発信支援、各種イベントへの出展など、メリットがいっぱいです！

府中を拠点に、地域や社会のためになる団体活動を展開している皆さまは、プラッツ総合受付にお越しください。ご登録お待ちしております。 ※詳細はホームページをご覧ください。

団体登録情報は
こちらから





1月

次のステージへ

- 15 (水) 「エール」説明会
- 18 (土)・25 (土)
「好き」からはじめるライフシフト
- 19 (日) NEC わくわくプログラミング教室
- 19 (日) 発達障がいとカサンドラを考える
- 25 (土) 市民活動専門講座
見た目で惹きつける! 団体のロゴづくり講座
- 26 (日) ソーシャルアクションツアー

2月

団体どうしが
つながる

- 1 (土)・29 (土) 市民活動入門講座
「好き」からはじめるライフシフト
- 2 (日) 名犬チロリが教えてくれた
人と犬が共存する社会
- 8 (土)〜24 (月・祝)
花王国際こども環境絵画展
- 22 (土) 助成金プレゼンレクチャー
- 26 (水)〜3/1 (日) ふるさと学習発表会

3月

総決算

- 14 (土) プラッツひろば (交流会)
- 15 (日) 「プラッツと。」「エール」
公開報告会
- 20 (金・祝) 「エール」公開審査会

ほぼ毎月開催

1.3 水曜日 プラッツ相談所

毎週木曜日 絵本の修理

最終金曜日 しごとバー府中

ときどき 府中ミライ会議

第2日曜日 若いぼくらにできるコト

ときどき 遊び場ぶらっと
(コミュニケーション&ボードゲーム)

ときどき プラっとカフェ

毎週月曜日 ラジオでまちづくり

毎週月曜日 勉強カフェ

1.3 水曜日 キッズスペースミニイベント

プラッツ よもやま情報

市民活動応援助成金「エール」がリニューアル

市民活動団体のみなさんがより使いやすく、わかりやすい助成金制度にバージョンアップしますので、ぜひご活用ください。

募集期間: 1月20日 (月) ~ 2月28日 (金)

① 事業スタートアップ助成

新しく活動を開始した団体向けに事業の開始を応援します。
対象経費合計の90%以内かつ10万円を限度額とします。

② 事業ステップアップ助成

継続的な団体の事業の発展・拡大を応援します。
50万円を限度額とし、対象経費の70%以内を限度額とします。
また、同一事業に対しての限度額は2年目は対象経費の50%以内、3年目は対象経費の30%以内とします。

③ 組織基盤整備・強化助成

団体の組織基盤を強化し、活動の継続を応援します。
対象経費実費のうち10万円を上限とします。

登録団体へのご案内

団体登録は、毎年度の更新が必要です。1年間の活動実績の確認をさせていただきますので、必ず一度ご来館ください。

※ポータルサイトでの更新は3月9日 (月) より可能になりますが、その際も事前にご来館をお願いします。

期間: 3月1日 (日) ~ 4月30日 (木)

ロッカーの使用については「令和2年度ロッカー使用のご案内」をご覧ください。

令和元年度 第4回講演会

名犬チロリが教えてくれた 人と犬が共存する社会

日本人ブルースシンガーとして世界的に活躍する音楽家の大木トオルさんは、殺処分廃止の実現にむけ、各地の愛護センターや保健所から対象となった捨て犬や被災犬を保護しセラピードッグを育成し、病院や施設訪問を行う活動を長年続けています。当日は、セラピードッグも来館し、車イスの人や障がいのある人に寄り添う歩き方などのエキシビジョンも予定しています。かわいい犬たちに、ぜひ会いに来てください。

名犬チロリが教えてくれた
人と犬が共存する社会2020
2/2 (日)

13:00開場 14:00~16:00

プラッツ5階バルトホール

セラピードッグエキシビジョン(実演)/バルト
ホールホワイエにおいて、多摩地域で犬猫の保護活動を行っている団体の活動展示も行います。

編集後記

いよいよ2020年、オリンピックの年の幕開けです。
2019年はラグビーワールドカップで盛り上がり、けやき並木はパブリックビューイングや、府中パレードなど、たくさんの来場者で賑わいました。11月に開催された第5回府中市民協働まつりにおいても、スポーツをテーマに活動している団体のブースが大人気でした。今年はさらに活気に満ちた年になりそうですね。

府中市市民活動センター プラッツ

TEL 042-319-9703 / FAX 042-319-9714

MAIL info@fuchu-platz.jp http://www.fuchu-platz.jp/

〒183-0023 東京都府中市宮町1-100 ル・シーニュ5、6階
(京王線「府中駅」南口直結)

プラッツHP



2020年1月1日 kokoiko第11号

発行責任者 館長 吉田恭子

©2017 府中市市民活動センター運営グループ

